

令和5年度 第3回浦川原区地域協議会 次第

と き 令和5年6月27日(火) 18時30分から

ところ 浦川原コミュニティプラザ 市民活動室4・5

1 開 会 (:)

○会議の成立確認(成立出席委員数6人) 出席委員数____人 欠席委員数____人

○会議録の内容確認者の指名 確認委員の氏名 小野 正広 委員

2 報 告

(1) 会長報告

(2) 委員報告

(3) 市からの報告

・3区中学校統合の進捗状況について

3 協 議

(1) 自主的審議事項の検討について(資料1)

(2) 「地域活性化の方向性」の作成について

(3) 研修会について(資料2)

4 その他

・浦川原区地域協議会だより第56号の発行について(当日配付)

5 次回の会議日程

・令和5年度第4回地域協議会

日時：令和5年 月 日 () 時 分から

会場：_____

6 閉 会 (:)

浦川原区地域協議会長 様

提 案 書

提案月日 令和 5 年 6 月 1 9 日

提案者 地域協議会 A グループ

池田、相澤、赤川、春日

北澤 (正)、杉田、宮川

提 案 事 項

浦川原区における文化の伝承について

提案理由 (根拠)

浦川原区には、長い歴史の中で生まれ、受け継がれてきた数々の伝統文化・芸能があり、現在、月影雅楽保存会、飯室神楽保存会、保倉川太鼓の 3 団体は、地域芸能・芸術団体として浦川原区を拠点に活動している。

しかし、月影雅楽保存会においては、国内でも数少ない地域の子どもたちによる「月影雅楽」の継承に関し、少子・高齢化により活動が困難な局面を迎えており、同会のメンバーの努力だけでは数年で失われてしまう可能性がある。

飯室神楽保存会においては、昭和 6 1 年に飯室地域の住民が「飯室神楽」を復活させたものの、先々の継承・保存活動に不安があり、活動に要する費用も市や自治会等からの支援だけでは十分とは言い難い状況にある。

また、保倉川太鼓は設立から 4 0 年余りが経過し、毎年公演を含めた多方面にわたる活動や発信は、浦川原区のイメージアップに多大な貢献をしており、今や住民皆が認める浦川原の芸能団体となっているが、今後の活動の継続に関し、活動費用の支援や会員募集などの面で不安が残る。

これらの現状をかんがみ、この 3 団体を浦川原が守るべき地域芸能・芸術団体と位置付け、伝統文化・芸能の保存・伝承を手助けする必要があると考えられることから、地域協議会の自主的審議事項として提案するものである。

2023(令和5)年6月27日

浦川原区地域協議会委員 各位

会 長 藤田
副会長 池田・村松

正副会長で6月23日金曜日に協議した原案を提出いたします。協議をいただき意見を伺い完成したいと考えています。

なお、文章構成については書式に従って作成した。

浦川原区における「地域活性化の方向性」

浦川原区の活性化に向けて

浦川原区の中山間地と頸城平野の裾野(山間地と平野部)で構成された地形と交通では主要国道253号と、ほくほく線の2か所の停車駅を十分に生かし、高齢になっても、この地でごく自然に暮らし続けられる環境づくりと、数ある文化遺産と諸伝承文化を維持できる体制づくりをしていく。また、山間地の棚田の保全と維持に諸制度の活用と人員の確保に努める。

構成要素

- 1 公共交通の積極的な利用と活性化に取り組む
(ほくほく線を利用したイベント等を実施する。浦川原区内の高齢者の移動手段の検討を行う)
- 2 ほくほく線両駅(虫川大杉駅・うらがわら駅)を活用した地域おこしをする
(サロン等の開設・イベントの企画・実施)
- 3 北越急行株式会社のネットワークを活用した特産品の販売
(実施計画の企画に「NPO法人夢あふれるまち浦川原」が取り組んでいる)
- 4 文化遺産の保持と伝統文化(芸能等)の保存と・発展に尽力する
(遺産については案内看板・パンフレットの配布、作成・地域の協力等で守り、伝統文化では人員の確保・維持管理のための経費捻出等を協議していく)
- 5 浦川原区の中山間地域の棚田の維持管理と崩壊の保全を実施し温暖化対策として災害防止のため棚田ダムを再認識していくとともに、棚田耕作者の確保と要請を実施する
(農業政策の諸制度の活用と浦川原区以外からの就農者確保に取り組む)

令和5年度 浦川原区地域協議会委員研修会 開催要項

地域協議会委員としての資質向上を図るとともに、更なる見識を深めることを目的に委員研修会を開催する。

今年度の研修会は、少子・高齢化、過疎化により農地の荒廃などが進む中山間地域において、どのように地域を維持していくかについて考えるため、次のとおり開催する。

【日 時】 候補日① 令和5年8月23日（水） 午後6時30分～8時30分
候補日② 令和5年8月24日（木） 午後6時30分～8時30分

【会 場】 浦川原コミュニティプラザ 4階 市民ホール

【主 催】 浦川原区地域協議会

【講 師】 星の谷ファーム 天明 伸浩 氏

【テーマ】 川谷もよりの地域づくり ～川谷で暮らして27年～

【参加者】 浦川原区地域協議会委員 ※一般公開とする

【次 第】

- | | | |
|---|----------------------|-------------|
| 1 | 開 会 | 18:30 |
| 2 | あいさつ（浦川原区地域協議会 藤田会長） | 18:30～18:40 |
| 3 | 研 修 | |
| | 講演（星の谷ファーム 天明 伸浩氏） | 18:40～19:40 |
| | 質疑応答・意見交換 | 19:40～20:25 |
| 4 | 閉 会 | 20:30 |

浦川原区 地域協議会だより

発行日：令和5年6月25日
通算：第56号
発行：浦川原区地域協議会
編集：地域協議会編集委員会
地域協議会事務局
(総務・地域振興グループ内)

自主的審議事項の進捗状況

自主的審議とは、地域協議会が地域住民としての観点から地域の課題や地域の活性化などについて話し合いを行うものです。私たち地域協議会では、委員それぞれが考える自主的審議事項の検討に向けた提案を行い、テーマごとにAグループとBグループに分かれて話し合いを進めています。

<Aグループ>

地域協議会Aグループでは、これまで浦川原区内の様々な活動団体から「地域の抱える課題、将来に向けての取組や方向性」等について、貴重なご意見や想いをお聴きしてきました。また、地域協議会が毎年行っている「中学生との意見交換」では、昨年、浦川原区の伝統文化・芸能や芸術を現地に一緒に赴いて体験し、その素晴らしい文化や伝統を守ることの重要性や苦勞を感じ取っていただいた上で、「飯室神楽保存会」「月影雅楽保存会」「保倉川太鼓」の3団体の活動や将来に向けての課題・不安に対し、中学生が考えた解決策や展望、さらに自分たちが出来る協力は何かをプレゼンテーションしてくれました。Aグループでは、生徒の皆さんが真剣に取り組み、考えてくれた貴重な意見に触れ、地域協議会としても重要な審議事項の1つと位置付けて、検討を進めています。

伝統文化や芸能・芸術を守る事業は、その事業によって利益が出ることはありません。存続や継承には計り知れない苦勞や努力の上に成り立っているからこそ、地域で人と心がつながることにより、浦川原区に住む誇りと愛着が生み出されると思っています。これからも住民の皆様方からのご意見を伺いながら取り組んでまいります。

最後に、10月28日に開催されます「浦川原中学校閉校記念音楽祭」に浦川原区を代表する3団体「飯室神楽保存会」・「月影雅楽保存会」・「保倉川太鼓」の出演が予定されています。一堂に会する出演は初めてとなりますので、是非ご覧ください。



飯室神楽保存会
中学生との意見交換会
(令和4年11月8日)



月影雅楽保存会



保倉川太鼓
浦川原小学校での指導
(令和5年6月16日)

<Bグループ>

5月11日の自主的審議事項検討会における「上越市からの意見書の回答精査」と「浦川原区での自主活動」についての報告

- 回答の精査
大きく区分すると、上越市と北越急行株式会社の今後の折衝状況をチェックしていく方向(3項目)と、浦川原区(住民参加)として自主的に実施していく2項目に分かれています。
- 上越市と北越急行株式会社の折衝をはじめ、直江津地区工場群等への協力要請が必要な3項目については、解決に時間を要するため、折衝の内容をチェックできる体制を整えて見守ることとしました。
 - ① 上越妙高駅への乗り入れ本数を多くすること
 - ② 黒井駅(JR)への停車本数を多くすること
 - ③ 新車両にはトイレを設置すること以上3項目ですが、いずれも上越市は折衝相手と内容が多岐にわたり、交渉が必要なため、時間を要することについて了解しました。
- 浦川原区が自主的に実行し、浦川原区をはじめとした東頸地区の鉄道(ほくほく線)の大切さを認識する機会づくり、マイレール意識を各人に持っていただく活動として、次の2項目については、住民組織である「NPO法人夢あふれるまち浦川原」で企画し、協力団体(決定済み)と連携して進めていきます。
 - ① 北越急行株式会社のネットショップ網を生かして農産物等、特産品を販売する。利益は、生産者・北越急行株式会社をはじめ関係者に還元していく
 - ② 虫川大杉駅・うらがわら駅両駅舎の活用策として「イベント会場」「交流場所」等、柔軟に活用していくこの2項目は、北越急行株式会社・上越市浦川原区総合事務所との調整等が必要となります。実行に移すべき具体的内容については、6月12日の自主的審議事項検討会で検討しています。



活動報告(3月～5月)

日付	項目	主な内容
令和5年 3/25	令和4年度地域活動支援事業成果報告会(浦川原コミュニティプラザ)	
3/25	令和4年度 第12回浦川原区地域協議会 (浦川原コミュニティプラザ)	<ul style="list-style-type: none">・中学生との意見交換会(「浦川原いいところ探し」まとめ発表会)について【委員からの報告】・令和5年度浦川原区の主な事業と予算について【市からの報告】・3区中学校統合の進捗状況について【市からの報告】・令和4年度の活動実績・振り返りと令和5年度の活動計画の検討について【協議】
4/25	令和5年度 第1回浦川原区地域協議会 (浦川原コミュニティプラザ)	<ul style="list-style-type: none">・令和5年度第1回浦川原区公共交通懇話会の開催結果について【委員からの報告】・3区中学校統合の進捗状況について【市からの報告】・令和5年度活動計画について【協議】
5/30	第2回浦川原区地域協議会 (浦川原コミュニティプラザ)	<ul style="list-style-type: none">・中山間地域農業「将来ビジョン」の完成と実践に向けた取組方針について【市からの報告】・第2次上越市総合公共交通計画後期計画について【市からの報告】・3区中学校統合の進捗状況について【市からの報告】・地域自治の推進に向けたヒアリング調査について【市からの報告】・研修会について【協議】

【編集後記】

先日開催された浦川原中学校として最後の体育祭。その全校リレーでの出来事。序盤でバトンパスがうまくいかず大差をつけられ、最下位で大苦戦を強いられることとなった白チーム。それでも走者誰一人あきらめることなく、むしろ火がついたかのように全力でバトンをつなぎ、最後は最下位を脱しゴールを果たしたのです。生徒の皆さんの「あきらめない姿」を目の前にし、心が洗われ、深く感銘を受けました。風薫る5月31日、実に爽やかな1日となりました。

編集委員：藤田宏証、春日清美、北澤正彦、五井野利一